



SANSHIN GROUP

Monthly Report on the ESG

Jul.2020

INDEX

1. TOP MESSAGE
2. グループ社員による今月のつぶやき
3. ESG Report（品質）
4. ESG Report（環境）
5. ESG Report（地域貢献とワーク・ライフ・バランス）
6. サンシングループの経営理念とCSR
7. 経営戦略体系と管理会計のかかわり
8. サンシングループの社会的責任
9. サンシングループの企業行動基準
10. サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ
11. 未来形から問題を解決するソウレンハウ

TOP MESSAGE

ここ最近、「ついにCOVID-19の第二波がやってきた！」というニュースが巷を震撼させている。しかし、新型コロナウイルスがひとりノコノコやってきた（come）わけではない。人間が風俗街から持ってきて（bring）、家庭、学校、病院、職場、など連鎖的に感染させているだけである。我々は時代の証言者となろう。パンデミックとは、第一波は愚弄政治家の隠蔽から始まり、第二波は無法者の蛮行で広まるということ。

サンシングループ
代表取締役社長
石井 宏宗

グループ社員による今月のつぶやき

SANSHINEast

世界で新型コロナウイルスが猛威を振るっておりますが…。重篤化しやすいのは糖尿病、心不全、呼吸器疾患（慢性閉塞性肺疾患など）の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制薬や抗がん薬などを用いている方といわれています。持病のある方の死亡率を見てみると、心血管疾患が10.5%、糖尿病が7.3%、慢性呼吸器疾患が6.3%、高血圧が6%、悪性腫瘍が5.6%としています。そのため持病のある方にとって重要なことは、新型コロナウイルスの感染予防だけでなく、持病の管理をしっかり行っておくことも重要です。（Y.Y.）

SANSHIN Hong Kong

The coronavirus epidemic has caused many to be concerned about the possibility of bringing bacteria and viruses into the home after being outside. Actually, all we need to do is a little advanced planning to stay safe. Divide your home into a "Buffer Zone" and a "Living Zone" to lower the risk of the virus from getting in. As well as relieving some of our worries, it also means we don't need to overuse the disinfectants, thus lessening the negative impacts on the environment. (V.K.)

CSI

CSIでは毎年環境保護を目的に植林を行っております。昨年は2019年4月27日に行いました。今年はコロナの影響で延期となっております。場所と時期の選定（どこの場所が必要とされ、空いているか）の確認作業を行っております。（K.S.）

SANSHINWest

7/1からレジ袋の有料化が始まりましたが、コロナ感染防止策としてアメリカではマイバッグ禁止の州が増えているそうです。確かに色々な場所を行き来するので、ウィルスをばらまいているようなものですね。ですが環境汚染の事を考えると、面倒ですが毎回洗うなど対策が必要だと思いました。（T.S.）

SHINKOWA

新型コロナウイルスによる非常事態宣言の解除、行動制限処置が緩和されましたが、新型コロナウイルスが終息したわけではありません。一人一人が感染予防（手洗い・うがい・除菌・マスク着用・3密を控える・不要な外出を控える）を実施して、自身が感染しないようにしましょう。（M.N.）

SC2

新型コロナが世界を席卷してから半年ほど経とうとしています。数か月すると秋。秋は五行で「金」となり、肺や大腸に疲れやダメージが出やすくなります。コロナ禍をうまく乗り切るために、陰陽五行を学んでみるのも良いでしょう。古くからの知恵を生かしましょう。（M.I.）

ESG Report (品質)

TOPICS

頭の中を整理する

頭の中がごちゃごちゃしてストレスが多い人は、まず思考をシンプルにする事としてストレスを下げて行きましょう。

1. 考えを紙に書き出す

頭の中の整理ができない人は、色々な事を、ああでもない、こうでもないと考えています。頭の中でひっかかっている事は全て紙に書き出してみましょう。そうすることで頭の中がクリアになります。

2. 過去に縛られない

過去に縛られず、今出来る事に注力しましょう。

3. 日常の選択肢を減らす

日常の決め事のせいで、頭の中がいっぱいになっていませんか。出来るだけ選択肢を減らしましょう。普段やってる事は、ルーティン化したほうが、頭が疲れません。また、身の周りにあるいらぬ物を排除しましょう。余計な物がいっぱいあると、思考も鈍るものです。

4. 情報を制限する

毎日、沢山の情報で、脳がオーバーロードしています。情報が多すぎると、選択肢も増えます。情報を送ってくるものをシャットダウンするか、制限しましょう。

情報が氾濫する中で、それに振り回されずに、頭の中を整理し、物事をシンプルにすることで、パフォーマンスをあげていきましょう。

サンシングループの品質方針

サンシングループは、品質マネジメント・システムの効率的な運用により、お客様の満足にかなう企業活動を行い、社会へ貢献していくために、以下の品質方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も品質マネジメント・システムを遵守し、お客様に信頼される品質の提供に努めて参ります。
2. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して品質の向上に努めて参ります。
3. 品質マネジメント・システムは、定期的な内部監査及びマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善を図って参ります。

品質への取り組み

要因分析

<品質管理の基本である5M>
Material (材料)、Machine (製造機械)、Method (製造方法)、
Man (担当者)、Measurement (計測)

段取り

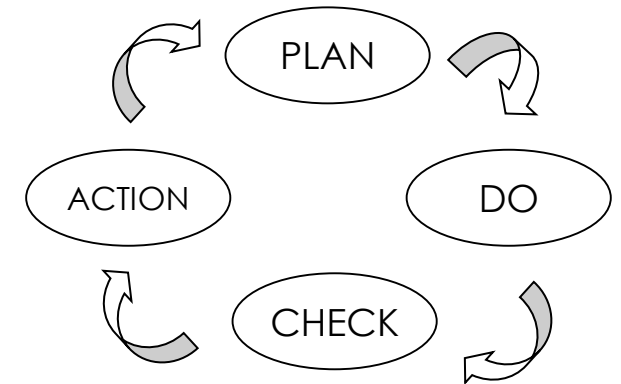
<仕事の段取り5W3H>
5W : When (いつ)、Where (どこで)、Who (だれが)、What (なにを)、Why (なぜ)
3H : How (どのように)、How much (いくら)、How many (どのくらい)

行動

<製造の基本である3現主義>
現場、現実、現物

管理

<品質管理の基本はロット管理と変更管理>



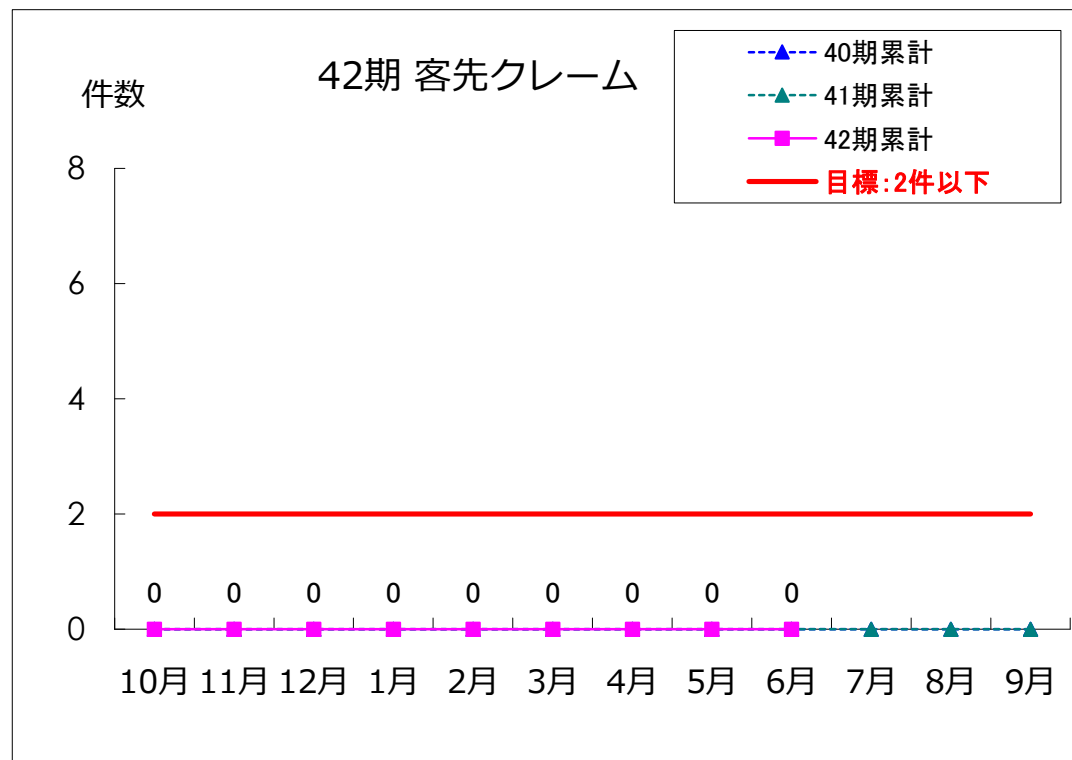
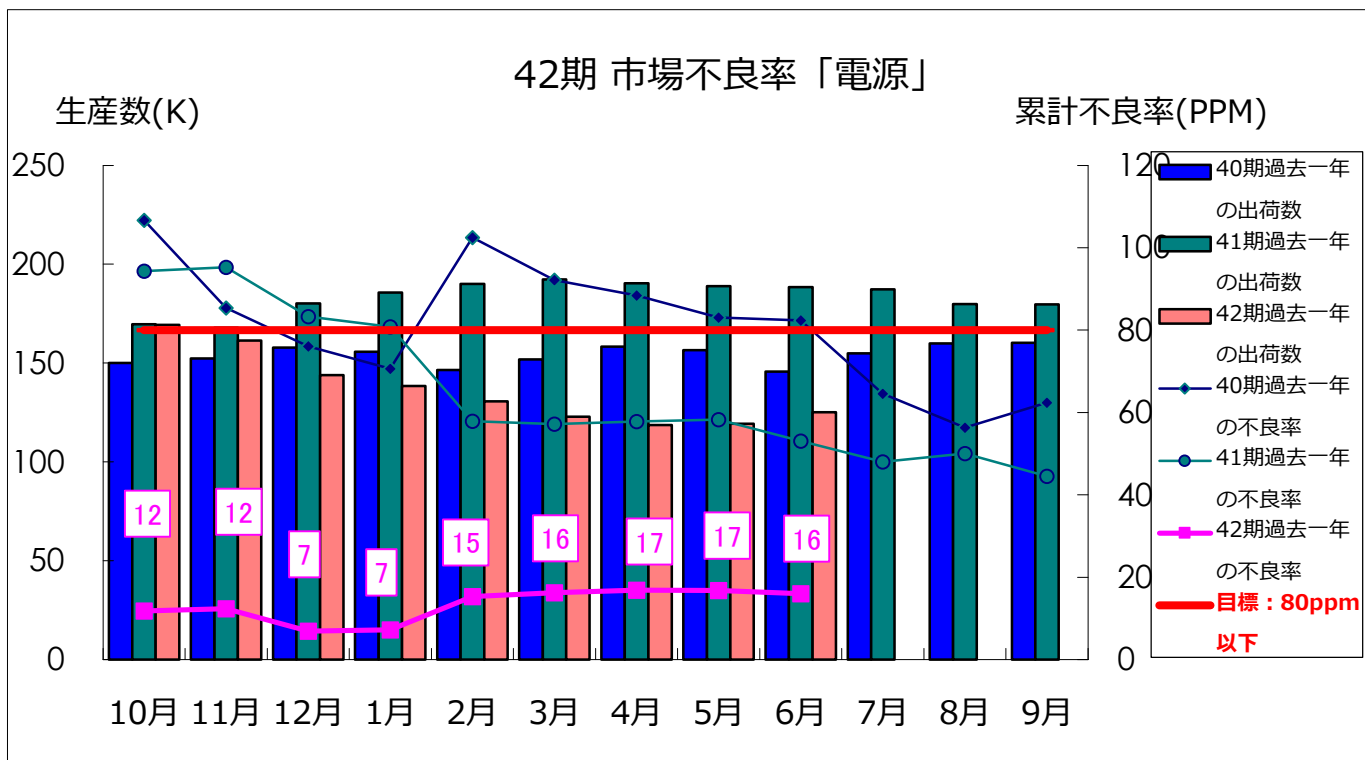
- EMS先との継続的な品質会議の実施。(1回/月)
- 定期監査の実施。(1回/1年)

* 最も大事なのが、継続させるための「**個人の意志**」である。

品質状況

納入不良率 目標 80ppm

42期の累計不良率は、16ppm です。
 市場不良累計(過去1年分) : 2件 客先クレーム : 0件



ESG Report (環境)

今月のTOPICS

□ いまふりかえる、「としまえん」の歴史

※今回の記事はサンシングループ本社勤務の方以外は??? かもしれません! 何卒ご容赦下さい。

西武鉄道は2020年6月12日（金）、同社が所有し子会社の豊島園が運営する遊園地「としまえん」（東京都練馬区）について、8月31日（月）をもって閉園すると発表しました。「としまえん」を中心とした一帯は、1957（昭和32）年に都市計画公園「練馬城址公園」の指定を受け、2011（平成23）年には避難場所や防災拠点となる公園・緑地の整備促進の観点から、東京都より2020年度までの10年間で優先的に整備する「優先整備区域」に指定されています。西武鉄道は12日（金）、都を含めた関係者と「都市計画練馬城址公園の整備にかかる覚書」を締結しました。今後跡地には『ハリー・ポッター』のテーマパークなどが整備される計画です。

「としまえん」は1926（大正15）年に開園。園内の遊戯施設では、日本最古で、世界的に見ても最古級といわれるメリーゴーラウンド「カールセルエルドラド」などが知られています。西武鉄道は「開園以来長きにわたり、地域の皆さまから支えられ、そして大変多くのお客さまにご来場いただきましたこと、深く御礼申し上げます」としています。

さて、サンシン電気本社からも徒歩圏内にあるこの「としまえん」、本社勤務の方にはなじみ深い施設でもありました。皆でお花見を楽しんだり、夏は花火の音で夜8時を感じたり、はたまた駆け出しのアイドルを応援してみたり…。今回は、およそ1世紀の歴史に幕を下ろす「としまえん」の歴史を紹介致します。



回転木馬「カールセルエルドラド」

1907年に、ドイツの機械技師ヒューゴー・ハッセによって製造された

今月のTOPICS

☑ 埼玉県民も頻繁に利用する遊園地

池袋駅から西武鉄道池袋線の電車に乗ること、約10分で練馬駅に到着します。練馬駅から分岐する豊島線（としません）は、練馬駅と豊島園駅の約1kmをつなぐ短い路線です。池袋駅から豊島園駅に直通する電車もあるため、遊園地「としまえん」（練馬区向山）は都心からのアクセスもよく、都民はもとより埼玉県民も頻繁に利用する遊園地として親しまれてきました。練馬区にありながら“としま”えんを名乗っていますが、これはとしまえん一帯が豊島郡に属していた過去に由来しています。

☑ 当初は鉄道会社運営ではなかった

西武グループによって運営されてきた、としまえん。そのため、鉄道会社が遊園地へ出掛ける需要を生み出すために開園したと思われがちです。郊外に遊園地をつくり、鉄道の利用者を増やすという私鉄のビジネスモデルは大阪を地盤とする阪急電鉄の創業者・小林一三が編み出したといわれています。西武グループであるとしまえんも、西武鉄道の乗客を掘り起こしという面があることは否めません。しかし、としまえんは大正期に起こった田園都市ブームに倣った遊園地として開設されています。当初のとしまえんは鉄道会社による運営ではなく、実業家が個人で興した事業だったのです。

☑ 遊園というより公園に近かった豊島園

大正期に起きた田園都市ブームによって、大都市の郊外は住宅地として開発が進められました。その住宅地開発と同時期に、地元根ざした実業家たちがこぞって遊園地の建設を進めています。1914（大正3）年、料亭経営者の平岡廣高が花月園をオープン。1922年には一帯に広大な土地を所有していた広岡幾次郎が、荒川遊園を開園させました。花月園は現在の神奈川県横浜市、荒川遊園は現在の東京都荒川区にあたりますが、当時は横浜市、荒川区ではありませんでした。そして、豊島園は1926（大正15）年に実業家・藤田好三郎によって開業します。

明治末から大正にかけて、家族でレジャーを楽しむというライフスタイルが社会に広まり、それを受けて実業家たちは遊園地をこぞって開業させていたのです。開園当時の豊島園は、「体育の奨励」と「園芸趣味の普及」を目的にしていました。当時、機械技術が未発達であることや電気の使用がまだ十分ではなかったこともあり、現在のように遊園地にアトラクションや遊具は設置されていません。

また、高価な遊具を導入しても採算的に合わないという経営的な事情も少なからずありました。そのため、当時の遊園地はピクニック感覚で出掛けるような自然を生かした場所、今で例えるなら公園に近いレジャースポットでした。

今月のTOPICS

☑ 競争激化で移った経営権

実業家による遊園地の開園ブームが起きると、私鉄各社も追随。私鉄各社は自社の鉄道ネットワークをフル活用するべく、沿線の郊外で遊園地を次々にオープンさせました。自社の沿線に遊園地をオープンすれば、鉄道の収入も増え、遊園地の入園料なども得られるからです。

そうした背景から遊園地の競争は激化し、すぐに遊園地単体で収益を増やすことは難しくなりました。

そのため、前述した花月園は京浜電鉄（現・京浜急行電鉄）、あらかわ遊園は王子電気軌道（現・東京都交通局）、豊島園は武蔵野鉄道（現・西武鉄道）に経営権が移っていきます。

☑ 1965年に世界初の「流れるプール」オープン

1927（昭和2）年、武蔵野鉄道が豊島線を開業。これにより、豊島園までの鉄道でのアクセスが整備されます。鉄道アクセスが整備されたことと同時に、武蔵野鉄道は園内の遊具の充実を図ります。その際に目玉になったのはウォーターシュートとよばれる遊具で、そのほかにも演芸場や音楽堂などが整備されました。

また、武蔵野鉄道は森永製菓にスポンサーとして協力を仰ぎ、入園料の割引を実施。家族で楽しめることを全面的に打ち出して、来園者を増やしました。

戦後、としまえんは遊具を増やして人気を高めていきます。1955（昭和30）年には観覧車、1958年には世界初の屋内スキー場、1965年には世界初の流れるプールとローラーコースター「サイクロン」、1973年には波のプールといった具合です。特に、ローラーコースター「サイクロン」は多くの子どもを魅了することになり、としまえんの人気を不動のものにしました。

☑ 入場者の落ち込みと、そして...

バブル期、としまえんは年間400万人もの来園者を集めました。しかしピークを過ぎた近年は、入場者数が年間100万人前後まで落ち込んでいます。

ライバルとなる大型テーマパークの台頭やレジャーの多様化といった理由もあって、としまえんは苦戦していました。それでも、2016年には開園90周年を迎えています。としまえんは、間もなく開園100周年を迎えるところでした。それが一転して、閉園という寂しいニュースが報道されることとなりました。

時代といえばそれまでですが、練馬区の兔月園、板橋区の遊泉園、朝霞市の朝霞テックのほか、短命に終わった練馬区の富士見台ファミリールンドといった近隣の遊園地・遊戯施設に比べて、としまえんは長きにわたって子どもたちをとりこにしてきました。それだけに、思い出もたくさん詰まっています。

閉園を惜しむ人は少なくありません。

サンシングループの環境方針

サンシングループは、環境の保全と向上に関する企業活動を重要なCSRと認識し、継続企業の責務として、将来に渡り環境の保全と向上に貢献していくために、以下の環境方針を策定しています。

1. 企業活動において、いかなる場合も環境マネジメント・マニュアルを遵守し、お客様に信頼される継続企業として、環境保全と向上に努めて参ります。
2. 「紙・ごみ・電気」の低減を定量的に徹底管理し、地球環境の汚染予防をはかって参ります。
3. 独自性のあるイノベーション活動を通して、地球環境の汚染防止をはかって参ります。
4. 「安全・安心・快適」な職場環境を追求し、すべての社員が健康的に働くことのできる環境を実現して参ります。
5. 企業活動に係る法規制およびその他の要求事項に関して、コンプライアンスの遵守を通して環境の保全と向上に努めて参ります。
6. 環境マネジメント・システムは、定期的な内部監査およびマネジメント・レビューを行い、実態業務に沿った具体的な是正と改善をはかって参ります。



活動報告

- ①環境への取り組み
- ②廃棄物排出量
- ③コピー用紙使用量
- ④電力使用量
- ⑤切手・ペットボトルキャップ回収

環境への取り組み

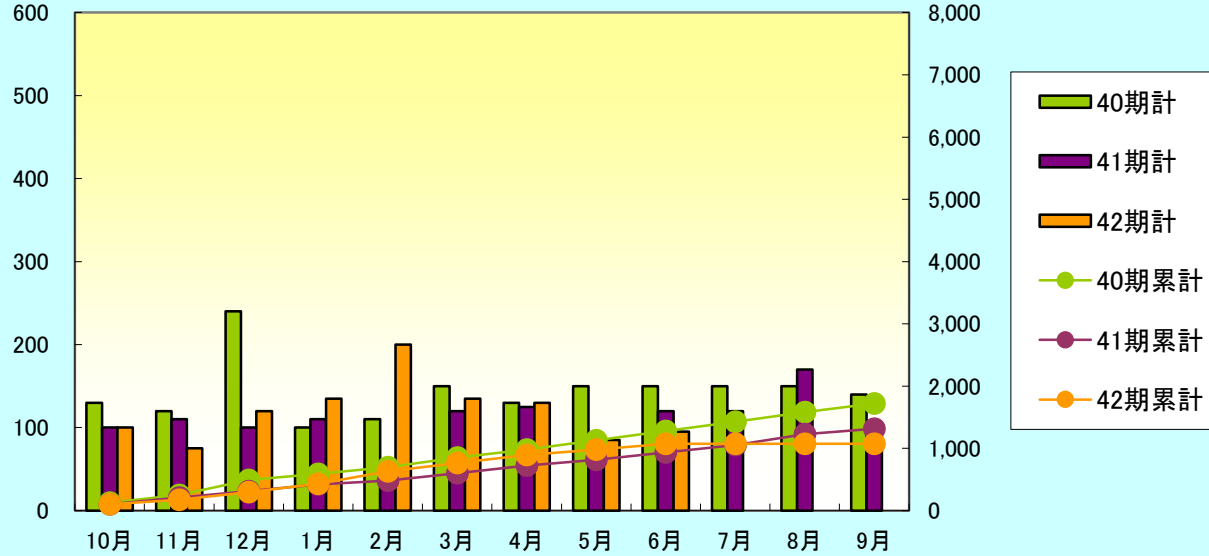
- ▶ 災害地域への義援金や植樹活動支援金の募金活動
- ▶ ソーラーシステム導入による再生エネルギーの活用（SSD headquarters & SHINTO）
- ▶ 年に一度、植林を実施（CSI）
- ▶ 省エネルギー機器の開発・販売を通じた環境への貢献
- ▶ ROHS対応部品の使用促進による環境負荷低減
- ▶ ペットボトルキャップ・使用済み切手の回収
- ▶ ウェアラブルカメラを導入し、5S活動を徹底（CSI）



一般廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kg)

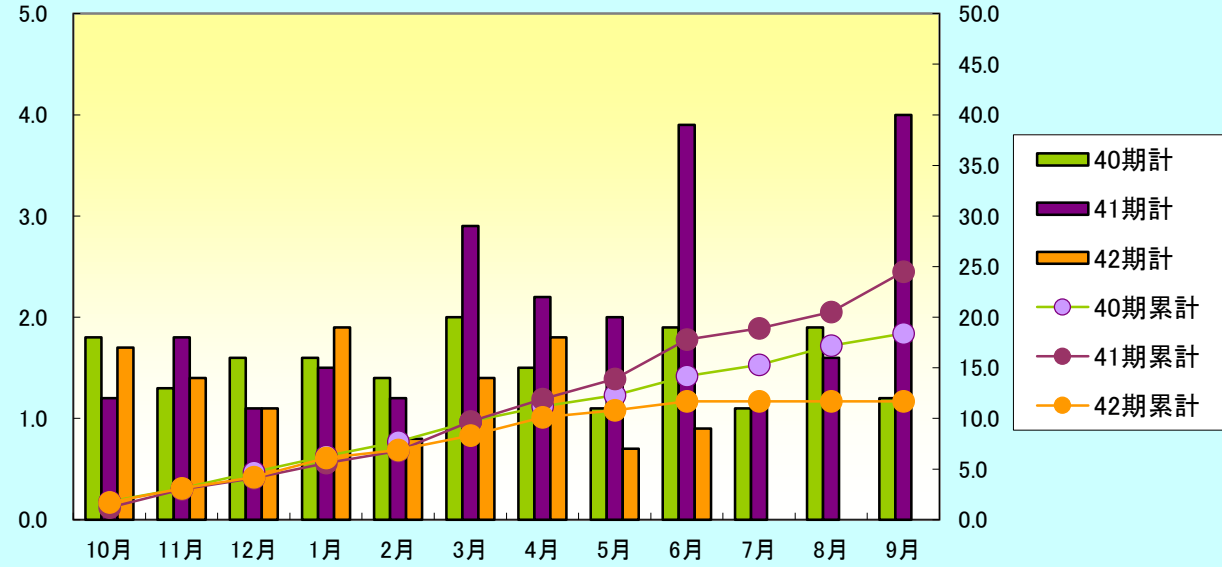
累計/折れ線(kg)



一般産業廃棄物(SSD/本社)

月次/棒グラフ(m³)

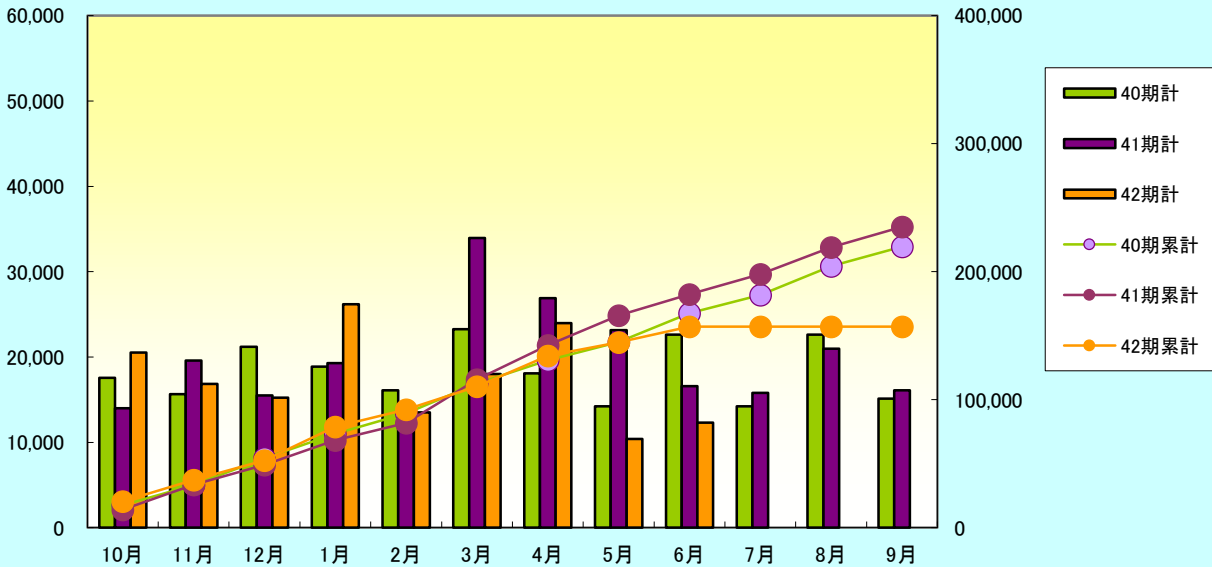
累計/折れ線(m³)



廃棄物処理金額累計

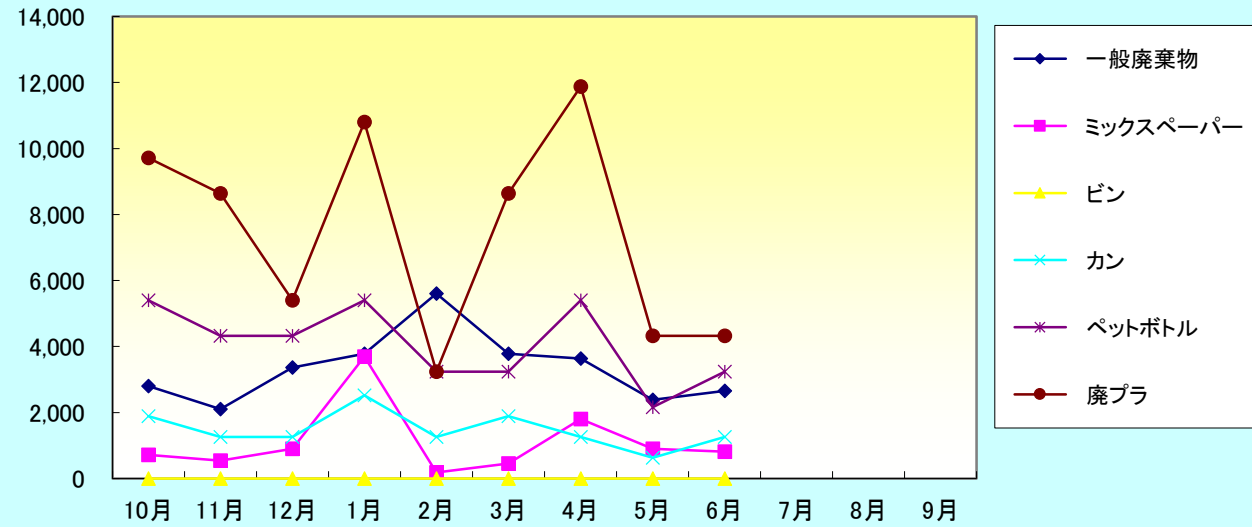
月次/棒グラフ(円)

累計/折れ線(円)



41期 廃棄物処理金額

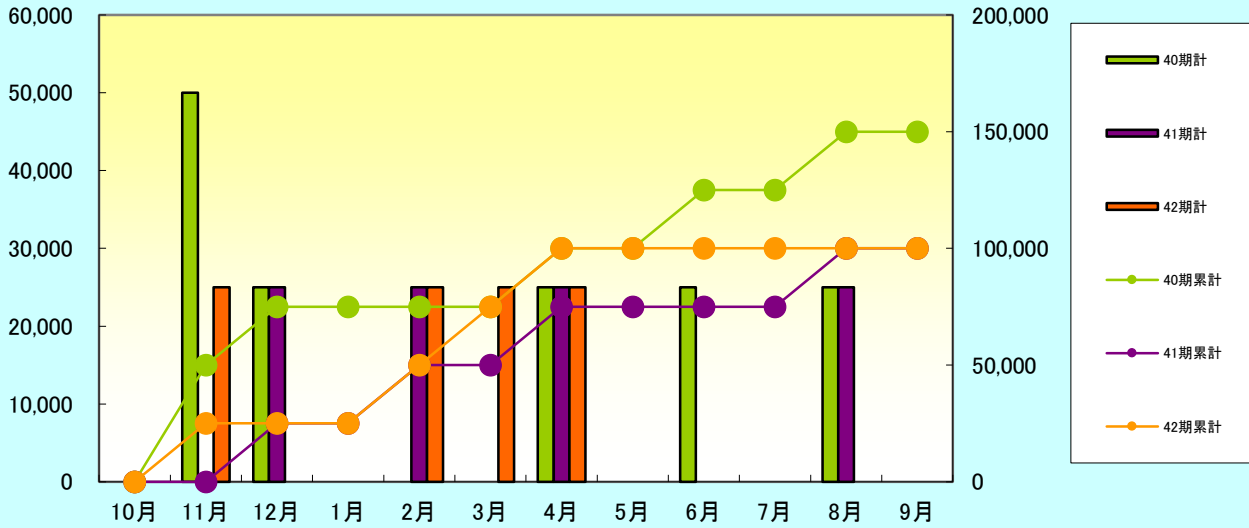
(円)



コピー用紙購入量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(枚)

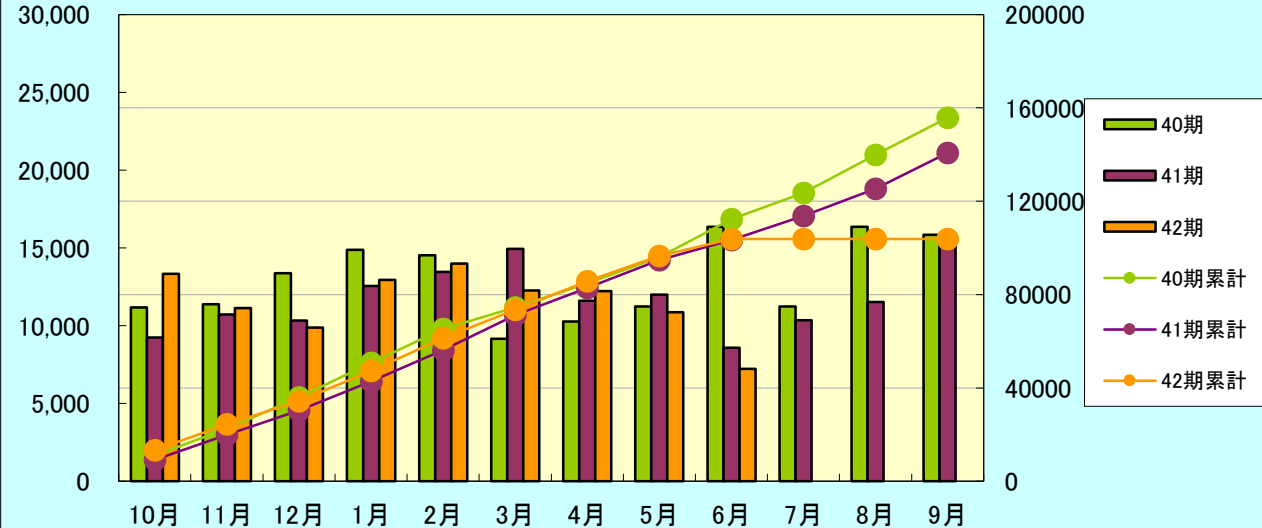
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/本社)

月次/棒グラフ(kwh)

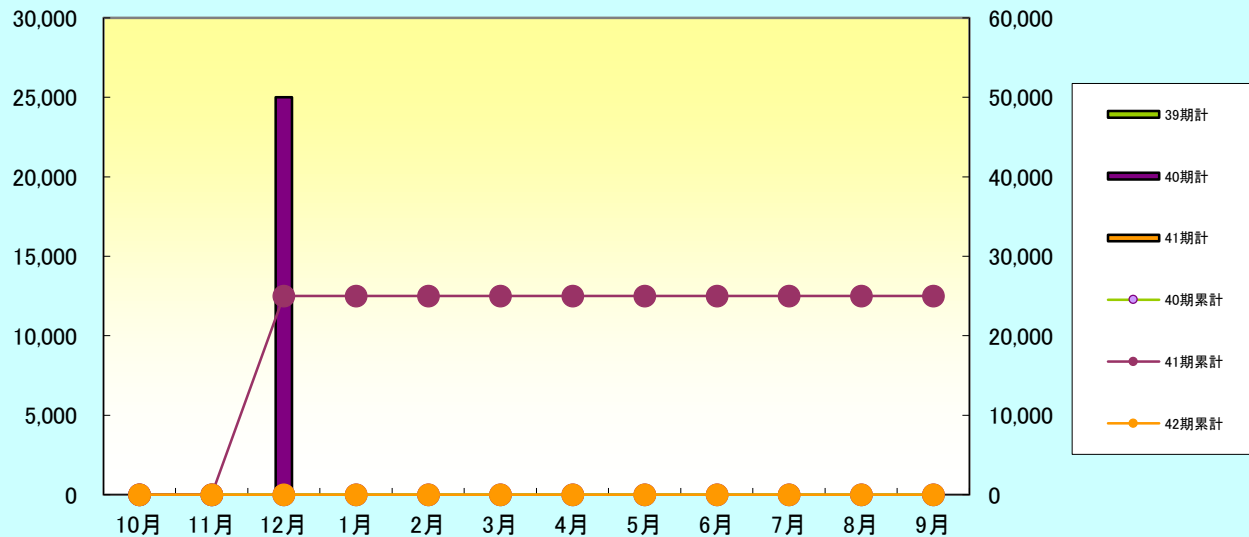
累計/棒折れ線(kwh)



コピー用紙購入量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(枚)

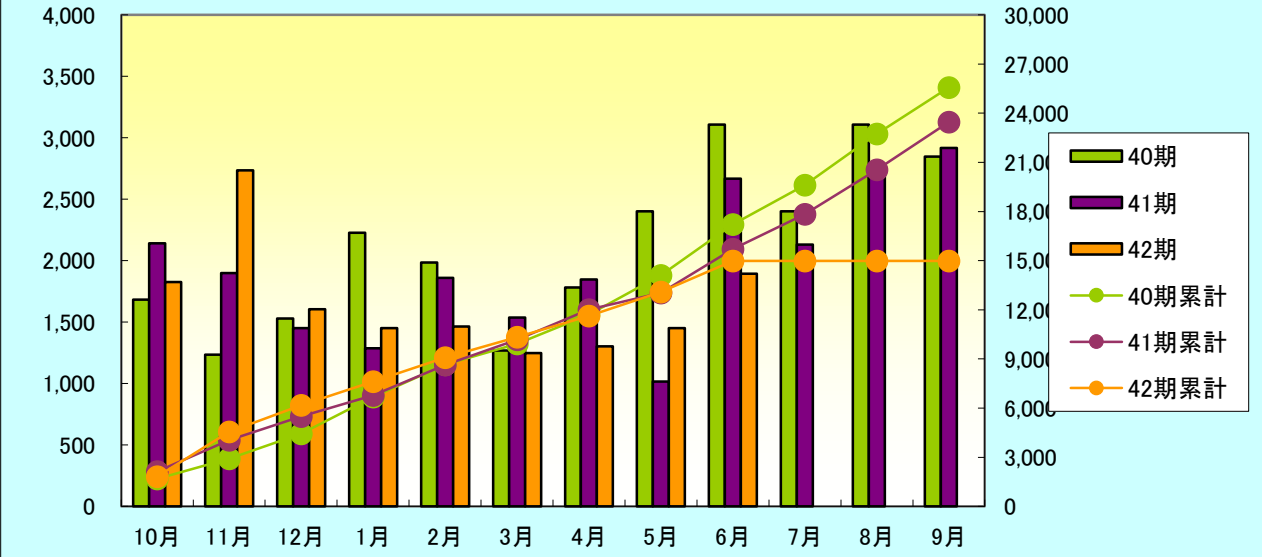
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SSD/関西営業所)

月次/棒グラフ(kwh)

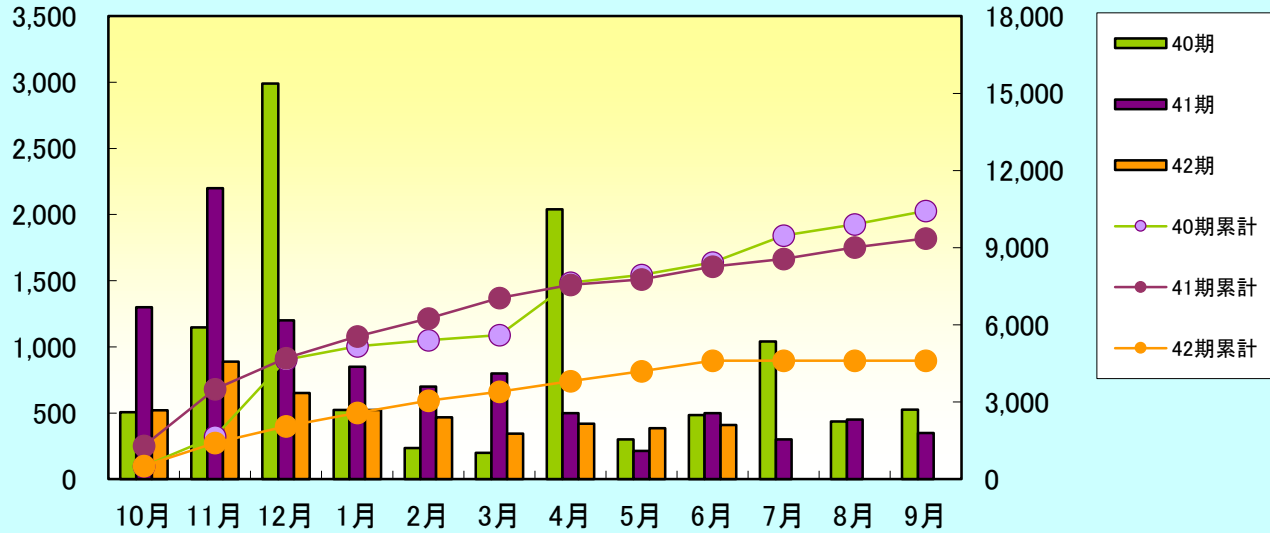
累計/折れ線(kwh)



ペットボトルのキャップ

月次/棒グラフ(個)

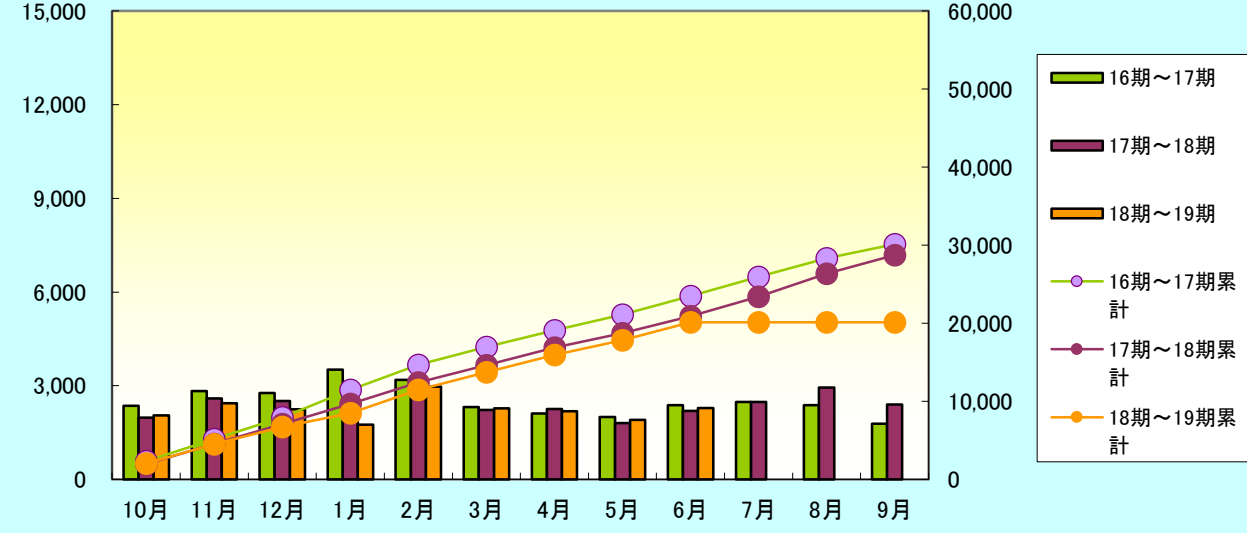
累計/折れ線(個)



電力使用量(SKW/朝日工場)

月次/棒グラフ(kwh)

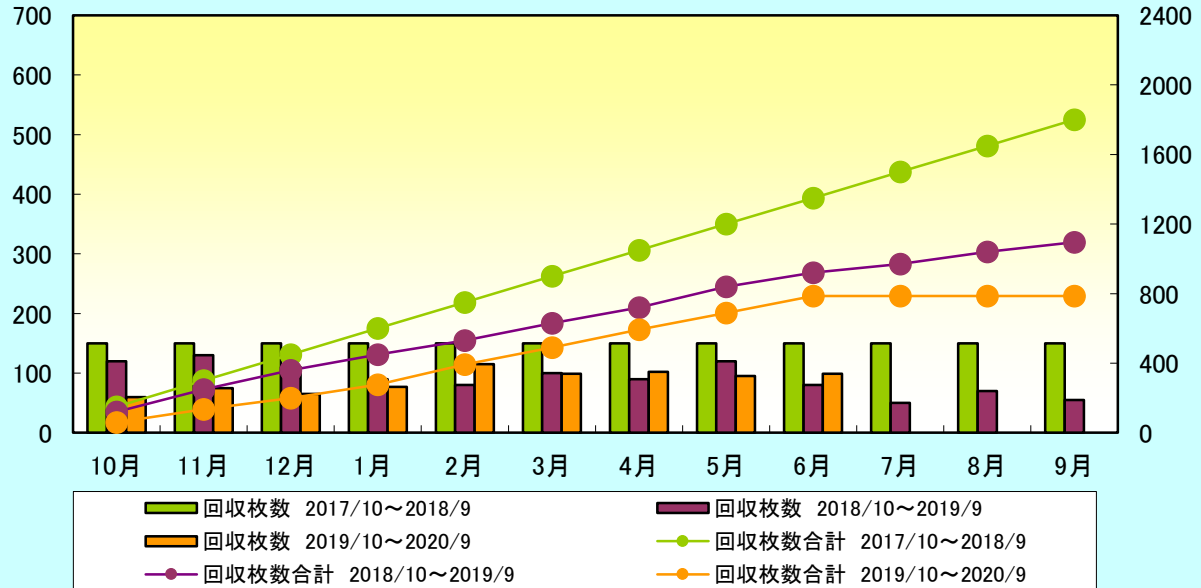
累計/折れ線(kwh)



使用済み切手回収

月次/棒グラフ(枚)

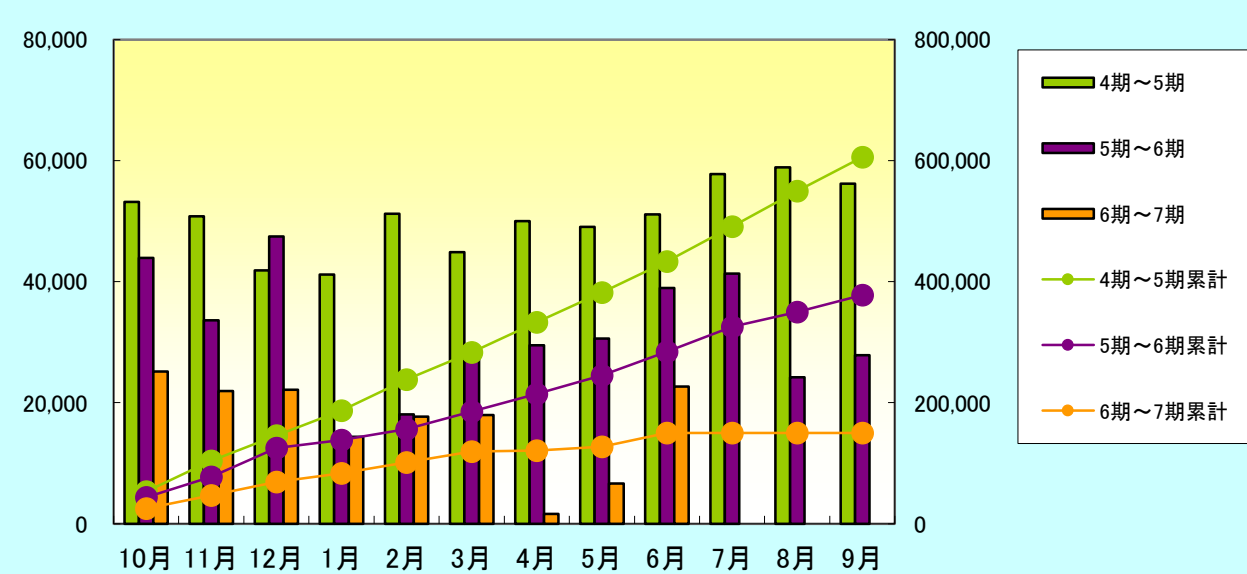
累計/折れ線(枚)



電力使用量(SKW/CSI工場)

月次/折れ線(kwh)

累計/折れ線(kwh)



ESG Report (地域貢献とワーク・ライフ・バランス)

今月のTOPICS

『SANSHIN大学～健康筋力養成コース～』を再開しました！

2019年7月から、「健康経営セミナー」の一環として、毎月1回開講していたNSCA認定コンディショニング&ストレングススペシャリスト、JBCプロボクシングC級ライセンスを保有されているパーソナルトレーナー 徳岡 忠司氏による「健康筋力養成コース」は、コロナ禍により、2020年4月及び5月の開講を控えていました。

この度、緊急事態宣言解除に伴い、2020年6月より感染症対策を取った上で、講座を再開致しました！

原則、オンラインでの実施とし、対面でのレッスンとなる場合は、消毒液を設置し、換気をしながらの開講となりました。

外出規制やテレワーク中心で運動不足となっていた受講生の体力や体の不調などに合わせたレッスンは大変好評です。また、久しぶりの開講で、講師と受講生はお互いに再会を喜び、今まで以上に笑顔溢れるレッスンが展開されています。

今後も with コロナで「健康筋力養成コース」を開講し、各受講生の健康的な筋力UP、体の不調改善などに繋げて参ります。



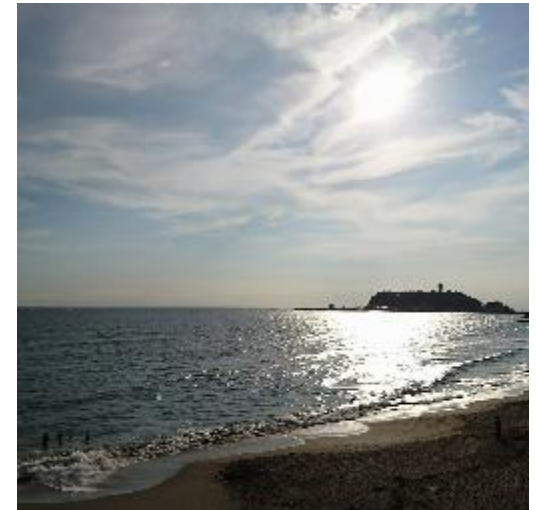
パーソナルトレーナー 徳岡 忠司氏

活動報告

- ①地域貢献活動
- ②ワーク・ライフ・バランスへの取り組み
- ③人財育成への取り組み

地域貢献活動

- 地域雇用の促進
- 地域清掃の実施（6月参加人数：延べ8名）
- ハンディキャップのある方々の自立を目指すお弁当宅配センターから会議用お弁当を購入
- インターンシップ実習生の受け入れ（日本、中国、マレーシア）
- 近隣の小中学校へ新聞を寄贈
- 企業メセナとして日本のワインや日本酒を購入（ミタスライフ）
- 動物介在ボランティア活動実施（ミタスライフ）
※2020年6月時点では、コロナ禍により活動を休止しています。
- 学習塾において生徒のコーチング＋学習支援事業を実施（ミタスライフ）
- 季節の飾り物をエントランスにディスプレイ：七夕飾り

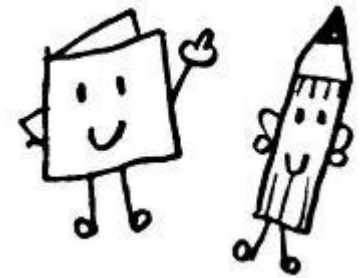


ワーク・ライフ・バランスへの取り組み

- 育児休業中も休業前のほぼ半額の給与支給。行政と併せてほぼ全額受給可能（累計実績5名）
- 育児短時間勤務中も、通常と同額の給与支給（累計実績5名）
- こども手当の支給（中学生未満）
- ご家族の急な病気やご家庭の事情、社会情勢に合わせて、在宅勤務又はテレワークが可能
- リフレッシュ勤務制度（勤務間インターバル制度）の導入
- 時間単位の有給休暇取得制度の導入
- 年2回実施の人事考課にて、ご両親または20歳以下の子供を扶養している社員への加点実施
- 永年勤続者への特別休暇の付与及び記念品を贈呈
- 毎年1回、全社員対象に健康診断を会社負担で実施
- 毎年インフルエンザワクチンの予防接種費用を会社が補助
- 毎月「健康筋力養成コース」開講（6～10名／回参加）
- 東京都の「感染症対応力向上PJT」に参加し、コースⅠ（感染症理解のための従業者研修）達成（2016年1月）、コースⅡ（感染症BCPの策定）達成（2017年12月）
- 全国健康保険協会東京支部より「健康優良企業・銀の認定証」取得（2020年5月更新）⇒4年連続！
- 経済産業省・日本健康会議より「健康経営優良法人2019（中小規模法人部門）」の認定取得（2019年2月）⇒3年連続！
- 東京都より「令和元年度スポーツ推進企業」、スポーツ庁より「令和元年度スポーツエールカンパニー」の認定3年連続取得（2017年～2019年）

人財育成への取り組み

- ▶ 社内にサンシン大学（SSU）を設置。経営・法務・税務・新製品紹介・ビジネス英会話・健康促進法・eラーニング等の講義を開講（World-wideでSkype配信実施。就業時間内に開講。会社が費用負担）
- ▶ サンシン大学への出席実績は、年2回の人事考課で加点対象
- ▶ 自己啓発支援制度により、MBA取得や資格取得を積極的に支援（毎年3～4名利用）
- ▶ 簿記、ビジネス実務法務検定、TOEIC・英検の取得により職能給UP
- ▶ 他社での技術研修、経理実務研修等を実施
- ▶ 年に1度、好業績を残した社員に対して社員表彰を実施
- ▶ “情報共有システム（Intelligence Shared Systems）”の活用により、日々PDCAP’を全社で共有し、TOP MANAGEMENTとの直接のコミュニケーションが可能
- ▶ 一般社団法人ICTマネジメント研究会による「学生懸賞論文」の実施（毎年開催）



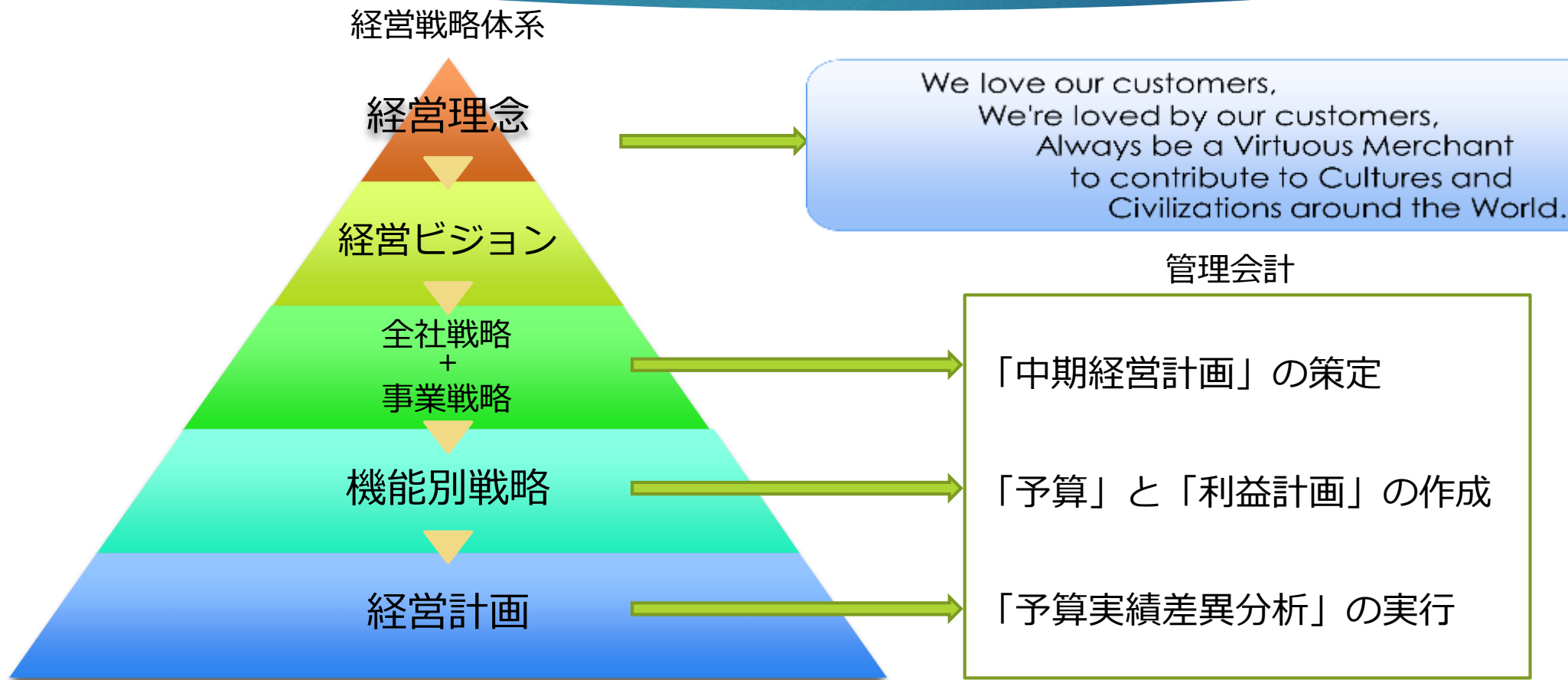
サンシングループの経営理念とCSR

We love our customers,
We're loved by our customers,
Always be a Virtuous Merchant
to contribute to Cultures and
Civilizations around the World.

サンシングループのCSRは、経営理念を全役員・全従業員が共有し、100%のコンプライアンスを大前提として、企業活動の中で経営理念を実践していくことです。

コンプライアンスの基礎となる品質マネジメント・マニュアル及び環境マネジメント・マニュアルを策定・導入し、サステナブルな企業として永続的に電機業界及び社会の発展に貢献して参ります。また、ステイクホルダーとの信頼関係の構築を通して、社会の公器として企業の社会的責任（CSR）を果たして参ります。

経営戦略体系と管理会計のかかわり



サンシングループの社会的責任

サンシングループは、企業はステイクホルダーをはじめとする社会全体と共存して繁栄し、社会的責務を伴う存在であると考え、以下の取組みを実施しています。

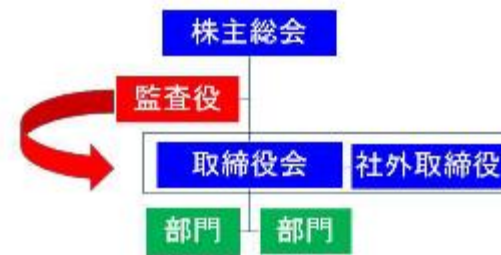
■ コーポレートガバナンス

経営者がコンプライアンスに準じた行動をしているか、コーポレートガバナンスにより、内部の業務監査を行っています。

■ CSR及び環境経営（ESG）

サンシングループではCSRに環境経営、品質保証、危機管理などの要素を含め、ホームページで活動内容を発信しています。特に環境経営はISOなどの環境マネジメントシステム（EMS）と連携した活動を実施しています。

コーポレートガバナンスと機関の役割



CSRの基本的要素



CSRの新たな要素



サンシングループの企業行動基準

サンシングループの倫理法令遵守企業行動基準は、「経営理念」を実践するために、企業倫理とコンプライアンスの観点から、基本的な姿勢を以下の通り定めています。

1. 私たちは、常に社会人としての自覚を持ち、高い倫理観に基づき、社会的良識に従って行動します。
2. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、関係法令および社内規定はもとより、利害関係者と取り交わした契約や約束を常に遵守し、全ての企業活動が正常な商慣習と企業倫理に適合したものになるよう努めます。
3. 私たちは、あらゆる企業活動の場面において、全ての人の基本的人権と個性を尊重し、オープンなコミュニケーションに努めます。
4. 私たちは、全ての利害関係者に対し、誠実に接するとともに、公平・公正かつ透明な関係を維持し、フェアな取引を行います。
5. 私たちは、会社の正当な利益に反する行為や会社の信用・名誉を損ねる行為を一切行いません。

サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループは、経営戦略達成のため、「アカウントティング・システム（財務的：定量的管理）」と「コントロール・システム（非財務的：定性的管理）」という2つのシステムから成るマネジメント・コントロール・システムズを導入しています。

このマネジメント・コントロール・システムズの「コントロール・システム」の基軸となるものとして、当グループ独自の品質マネジメント・マニュアルがあります。この品質マネジメント・マニュアルに基づき、ISO9000シリーズに準拠した品質方針、および環境マネジメント・マニュアルに基づき、ISO14001やエコステージなどの環境方針を策定しています。これらの方針に従い、コンプライアンス・品質・環境・地域貢献・人財育成等のCSR活動に努めています。



サンシングループのマネジメント・コントロール・システムズ

サンシングループでは、形式知化された業務をルール化し、業務フローと業務マニュアルを策定しています。

■ マネジメント・システム

マネジメント・システムにより業務を標準化し、企業活動に安定した品質をもたらしています。

■ 5W2HとPDCA→P' サイクル

PDCA→P' サイクルは計画策定のPlan、計画を実行するDo、計画と実行の差異を評価するCheck、評価から修正と改善を行い次のPlan(P')につなげるActionから構成されます。サンシングループでは情報共有システムなどを活用して、5W2Hを明示し、プロセスの進捗を可視化/共有しています。

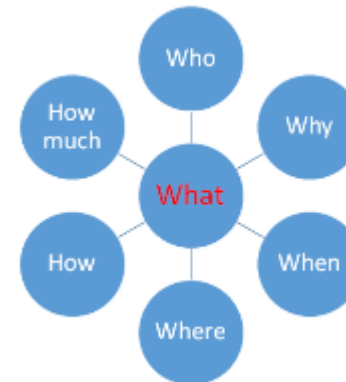
マネジメントシステムの基本構成



マネジメントシステムのレビュー



ビジネスの5W2H

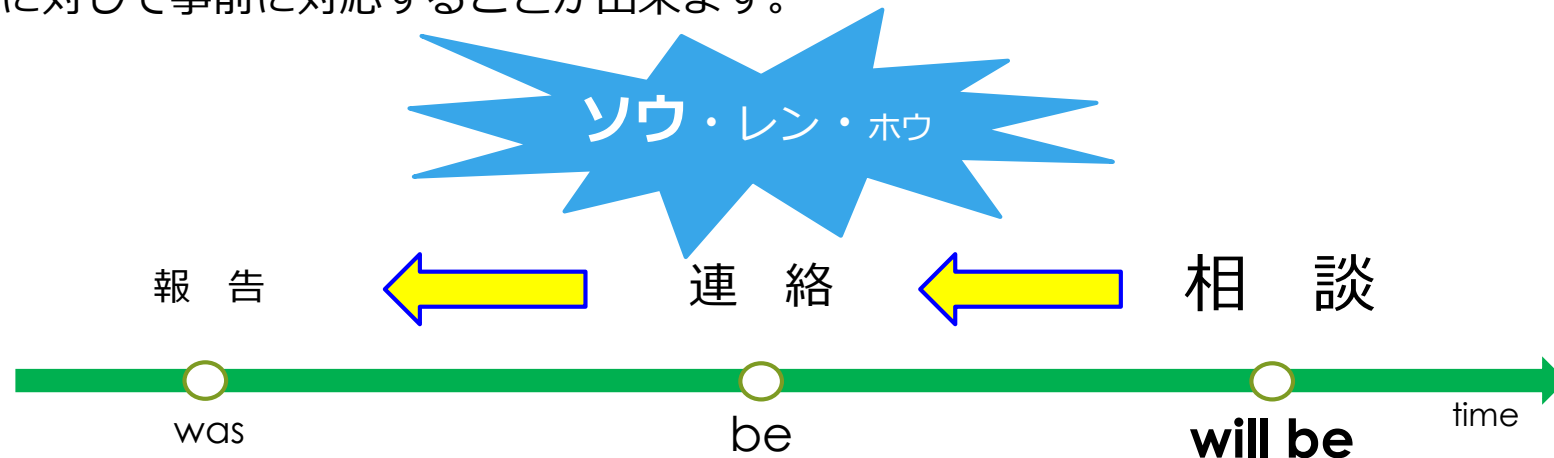


PDCA→P' サイクルの概念



未来形から問題を解決するソウレンホウ

サンシングループでは悪い問題は過去形になる前に潰すことが重要と考え、一般的に言われるハウレンソウ（報告・連絡・相談）ではなく、ソウレンホウ（相談・連絡・報告）を励行しています。ソウレンホウにより、過去形（報告）ではなく未来形（相談）と現在形（連絡）の情報を共有し、予測される問題に対して事前に対応することが出来ます。



出所：石井 宏宗『経営とは生きること -企業家に求められる3つの視点-』税務経理協会、2011年



編集
後記

SSD, 営業管理課 Y.Y.

今年の梅雨は長いなあと感じるのは私だけでしょうか。皆さんは「梅雨ダル」という言葉を聞いたことはありませんか？梅雨の時期におこる心身の疲れやだるさ、病気などの体調不良のことを言うのですが、梅雨になるとこのような体の不調を感じるという人が少なくないようです。この「梅雨ダル」、そのまま放置すると、夏バテや夏風邪が重症化したり、熱中症になったりする危険性もあります。うまくリフレッシュして、症状を持ち越さないようにしましょう。